科目名	保健医療論	講 師	単位数	1
			時間数	15
<p>科目目的 : 我が国の保健医療政策を総合的に理解し、人々の健康の保持増進のために果たす看護の機能と役割を学ぶ。</p> <p>科目目標 : 人々の健康の保持増進のために、疾病・死因の構造や保健・医療の様々な制度について理解できる。</p>				
講義回数	学 習 内 容			
7回	<p>1. 日本の人口・疾病構造と保健・医療の変遷</p> <p>2. WHOの影響</p> <p>3. 医療保険制度</p> <p>4. 医療提供体制</p> <p>5.保健対策 成人保健</p> <p>6.母子保健, 老人保健</p> <p>7. 精神保健, 難病, 歯科保健</p>	<p>1) 日本の人口構造, 死因・疾病構造</p> <p>2) 我が国の保健医療制度の変遷</p> <p>1)WHOの職務と我が国の保健医療への影響</p> <p>1)医療施設の概要</p> <p>2)医療計画, 地域医療構想, 充実すべき医療</p> <p>3)医療従事者の養成・確保</p> <p>1)医療施設の概要</p> <p>2)医療計画, 地域医療構想, 充実すべき医療</p> <p>3)医療従事者の養成・確保</p> <p>1)保健サービスを提供する仕組み(行政と民間)</p> <p>2)成人保健 生活習慣病と健康増進 健康日本21(第2次)</p> <p>1)健やか親子21(第2次)</p> <p>2)新オレンジプラン</p> <p>1)地域精神保健 保健所・精神保健福祉センター・市町村</p> <p>2)難病対策</p> <p>3)8020運動、歯科保健医療ビジョン</p>		
評価	授業態度、授業内の課題、小テスト、筆記試験			
テキスト	国民衛生の動向			
備考	講義の進行状況によっては講義内容の順番が入れ替わることもある。			

科目名	公衆衛生学	講 師	単位数	1
			時間数	15
<p>科目目的：看護職に必要な、集団(地域, 学校, 産業)を対象とし、社会全体の健康のレベルアップを目標とする公衆衛生の意義と概略を学ぶ。</p> <p>科目目標：公衆衛生の概念、各種法、保健統計、疫学など公衆衛生の根拠となる法律や方法論を理解できる。</p>				
講義回数	学 習 内 容			
7回	1. 公衆衛生の概念/変遷 2. 公衆衛生活動に必須なツール 3. 公衆衛生活動に必要なツール 4. 公衆衛生活動に必要なツール 5. 公衆衛生の拠点① 6. 公衆衛生の拠点② 7. 学校・産業の場における公衆衛生	1)公衆衛生の定義・機能・役割 1)保健統計 1)疫学 — 概念, 指標 1)疫学 — 疫学研究の種類と方法, 検査スクリーニング, 統計解析の基礎 1)保健所の公衆衛生 — 保健師活動 COVID-19,結核等感染症 1)保健所の環境衛生 — 食品・環境衛生等 1)学校、産業の場における公衆衛生の現状		
評価	授業態度、授業内の課題、小テスト、筆記試験			
テキスト	国民衛生の動向			
備考	講義の進行状況や受講者の関心などにより講義内容又は順番を若干変更することもある			

科目名	社会福祉論	講 師	坂本 陽亮	単位数	2
				時間数	30
<p>科目目的：社会福祉・社会保障制度について理解できる。 基本的な対人援助技術を学ぶ。 科目目標：医療保険における福祉の概念、社会福祉制度、社会保障について体系的に理解する。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
14回	1. 社会福祉とは	1) 社会福祉とは何か			
	2. 社会福祉6法	1) 生活保護法 2) 児童福祉法 3) 身体障害者福祉法 4) 知的障害者福祉法 5) 老人福祉法 6) 母子及び父子並びに寡婦福祉法			
	3. 高齢者福祉	1) 高齢者の現状 2) 介護保険法 3) 高齢者の権利擁護			
	4. 障害者福祉	1) 障害とは何か 2) 障害者総合福祉法			
	5. 児童家庭福祉	1) 児童福祉法			
	6. 医療保障	1) 医療保障制度の概要			
	7. 所得保障	1) 年金保険制度の概要			
	8. 公的扶助	1) 生活保護制度			
	8. 対人援助技術論	1) 直接援助技術 2) 間接援助技術 3) 関連援助技術			
評価	筆記試験 課題レポート				
テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度 [3] 社会保障・社会福祉 (医学書院)				
備考					

科目名	関係法規	講師	城所 敏英	単位数	1
				時間数	15
<p>科目目的：保健・医療・福祉・看護に関する法規を学ぶ。</p> <p>科目目標：医療従事者として必要とされる法令・法規について理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1～7回	1. 法規の概念 2. 看護法 3. 医事法規 4. 保健衛生法 5. 薬事法規 6. 社会保険法 7. 福祉法 8. 労働法・社会基盤整備 9. 環境法	1) 法規とは 2) 法の種類と体系 1) 保健師助産師看護師法 2) 看護師等人材確保の法律 1) 医師法・医療関係資格法 2) 医療法 1) 共通保健法令 ・地域保健法・健康増進法 2) 分野別保健法令 ・母体保護法 母子保健法 学校保健法 1) 薬剤師法 2) 毒物及び劇物取締法 3) 麻薬及び向精神薬取締法 1) 医療・介護保険法 2) 年金 1) 生活保護法 2) 児童分野・高齢分野・障害分野 1) 労働法 1) 公害関係法規			
評価					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保険制度〔4〕看護関係法令 医学書院				
備考					

科目名	生命倫理と哲学		単位数	1
	講師	山崎 達也	時間数	30
<p>科目目的 : 生物学的、自然科学的、哲学的、宗教的視点から生命の意義を考え、医療現場における倫理観を深める。</p> <p>科目目標 : 生命倫理に関するトピックスを理解し、臨床において自らがいかに対処していくべきかという問題を考えることができる。</p>				
講義回数	学 習 内 容			
1回目	1. 尊厳とは	生命尊厳と人間尊厳		
2回目	2. 正義のケアリングとは	正義の倫理とケアの倫理		
3回目	3. 安楽死と尊厳死とは	安楽死と尊厳死		
4回目	4. 事前指示と自己決定について	事前指示と自己決定に関する諸問題		
5回目	5. 減数手術とは	減数手術について		
6回目	6. 出生前診断	出生前診断に関する諸問題		
7回目	7. 障害新生児の治療	障害新生児の治療停止は許されるのか		
8回目	8. デザイナー・ベビー	デザイナー・ベビーに関する諸問題		
9回目	9. ヒト・クローン	ヒト・クローンは許されるか		
10回目	10. 代理母出産	代理母出産は許されるか		
11回目	11. 医療資源の配分	医療資源の配分に関する諸問題		
12回目	12. 治療拒否	宗教上の理由による治療拒否について		
13回目	13. 遷延性意識障害①	遷延性意識障害に対する現象学的アプローチ①		
14回目	14. 遷延性意識障害②	遷延性意識障害に対する現象学的アプローチ②		
評価	筆記試験 課題レポート			
テキスト				
備考				